

平成 29 年 4 月 4 日  
福 井 県 教 育 庁

## 平成 29 年度 第 1 回福井県総合教育会議 結果概要

### ◆ 主な意見

#### <白川文字学の活用など国語教育の推進>

- パソコンや携帯電話の普及で子どもが文字を書く機会は減っており、授業で文字を書く機会が増えるのはよいことだが、教員の質を上げる必要がある。
- 白川文字学は関連本が数多く出版され普及してきたといえるが、次なる発展のため、研究者や教員が集まり研究してみてもどうか。

#### <小・中学校が連携した英語教育の進め方>

- 小学校で英語を教える教員向けのハンドブックが作成されたが、学校現場で使っていく中で教員の意見を反映していく必要がある。
- ラジオの英語語学番組と中学 1 年生の授業の進め方との違いを研究して授業に活かしてはどうか。
- ALT の質を向上させるために、英語指導力や日本語力を高める仕組みが必要である。

#### <高校生の学力向上>

- 面白い授業を行っている教員の情報があまり入ってこない。教科指導だけではなくメンタル面での指導が上手な教員がいれば、受験指導にも活かせるのではないかと。

#### <教育総合研究所の機能強化>

- 学校支援については、授業に頻繁に反映させるスピード感が大事である。
- 福井県の教育レベルと教員の熱心さを知らない県民が多いように感じる。教育博物館などを通じ、もっと本件の教育の良さを発信していくべき。
- なぜ福井県は学力日本一なのか、わかりやすく説明できるものが必要である。

以 上